

事務事業評価シート 1-1					□は、プルダウンメニューから選択		事務事業No.	12 - 4		
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト	<input type="checkbox"/> ハード	<input type="checkbox"/> 必需	公的関与	8	作成日	30年 6月 29日			
事務事業名	農業祭経費					シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	5 賑わうまち					課名	産業課	係名	産業振興係
		5-1 働きがいのあるまちをつくる					シート作成者			
	施策	5-1-1 農業の振興					予算費目	会計	一般	
								款	6	
	主要施策	④ 流通体制の充実						項	1	
		⑤ 都市と農村との交流の促進						目	3	
個別計画名										
住民との関わり	住民の自主活動に対する支援（「場」の提供、資金援助、情報提供）									
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）			目的（どういう状態にしたいのか）						
	農家及び住民			農業をより多くの住民の方に理解していただくために、生産者と消費者、農業と地域社会とのふれあいの場を提供することにより、農業への関心を高めていただくことを目的とします。						
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）									
	農業祭・・・新鮮で安全安心な町内産農産物の品評会及び即売会を行うことにより、地元の農業を身近に感じていただき、地産地消への意識の高揚を図ります。									
事業期間	昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度 ~ 平成 年度 (年間) <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし									
根拠法令・要綱等										
	平成28年度（決算）			平成29年度（決算）			平成30年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B	0			685			3,993			
財源内訳	国庫支出金	0			0			0		
	県支出金	0			0			0		
	地方債	0			0			0		
	その他特定財源	0			0			0		
	一般財源	0			685			693		
直接事業費（千円）A	0			685			693			
人件費（千円）B	0			0			3,300			
内訳	一般職員（人・千円）	0.00	人	0	0.00	人	0	0.50	人	3,300
	臨時職員（人・千円）	人	0	人	0	人	0	人	0	0
成果指標	成果指標名			単位	29年度			30年度 (目標)	31年度 (目標)	
					目標	実績				
	①	農業祭への来場者（延べ）			人	1,000	700	800	800	
	②									
	③									
説明	農業への意識の高揚とPR活動を主な目的としており、町内はもとより町外から多くの方が来場しています。									

事業名	農業祭経費				シート作成課	産業課						
一次評価者	産業課長		二次評価者		建設部長							
評価項目の説明	チェック項目			一次	二次	一次の評価又は説明						
	必要性 1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者・対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	農業に対する関心と理解を深めるための事業として欠かすことのできないものです。								
		有効性 1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地元で採れた野菜・花の販売など、地産地消の活動の場として有効に活用されています。							
			達成度 1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	農業祭の実施により、農業生産者と住民との交流、農業に対する理解と意識の高揚及び地産地消の拡充を図ります。						
				効率性 1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	事業内容の改善や来場者を増やすための検討を行う必要があります。					
					本事務事業の実施適切性の説明							
					農家の生産意欲の向上を図るとともに、より多くの住民に参加・来場してもらうことにより、本町の農業や農産物への関心を深め、更に「食」と「農」との繋がりや重要性を多くの住民に周知する場として有効な事業です。							
					一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
4							4	3	4	(8) (7) (6) (2)	B D	8 7 (5)(6)
今後の方針	休・廃止					見直し	継続	拡大				
今後の改革・改善目標	町内産農産物を直接住民へ啓発する機会として、有効な事業の一つです。しかし、農業従事者の高齢化や後継者不足などの影響により、年々農産物品評会の出品数が減少傾向にあります。今後は、生産者と消費者が相互に理解を深め、農業や安全・安心な町内産農産物の重要性について、農業団体等との連携を図り、継続的な普及啓発を行う必要があります。											
二次評価	評価	必要性	有効性		達成度	効率性	総合評価					
		4	4	3	4	(8) (7) (6) (2)	B D	8 7 (5)(6)	A C (8)			
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大						
	コメント	近年、食の安全性に対する住民の関心が極めて高くなっています。一方、生産者は高齢化や農業離れが深刻化しています。本事業は、農業を身近に感じていただく好機であり、町内産農産物が安全安心であることや農業への理解と関心を高めるために必要な事業と考えます。より安全で安心な食料供給体制の形成及び町内産農産物の地産地消の向上に関わる事業に取り組む必要があります。										
二次評価に対する課の考え方												
参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する							